

〔女子準決勝〕

翔凜中学校 (君津)	7 6	}	<table border="0" style="margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 0 5px;">2</td><td style="padding: 0 5px;">4</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">3</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">5</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;"> </td><td style="padding: 0 5px;">4</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">2</td><td style="padding: 0 5px;">2</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">3</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">5</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">2</td><td style="padding: 0 5px;">3</td></tr> </table>	2	4	-	1	3	1	5	-		4	2	2	-	1	3	1	5	-	2	3	5 3	船橋市立宮本中学校 (船橋)
2	4	-	1	3																					
1	5	-		4																					
2	2	-	1	3																					
1	5	-	2	3																					

【評】

序盤，翔凜は⑩川井田，⑫高木のドライブが決まり得点を重ね，突き放しにかかる。一方，宮本は④木村のドライブや⑬宇佐美のジャンプショットで応戦。翔凜は⑩内藤，⑫高木のリバウンドからのゴール下を決めるなどして追従を許さない展開。宮本は粘り強いディフェンスと④木村，⑮大澤が果敢にドライブするも，翔凜の高いディフェンスに阻まれ前半終了。

後半，翔凜⑮三浦，⑬米須のジャンプショットが決まり，再び突き放しにかかる。宮本は，⑤石井のスリーポイントで応戦，粘りを見せる。最終Q，宮本の④木村，⑤石井，⑮大澤のスリーポイントが決まり勢いに乗ると，宮本は激しいオールコートディフェンスで相手のミスを誘い，さらに得点。翔凜は③四方のスリーポイント，①高橋のジャンプショットで応戦し，リードを守って試合終了。敗れはしたものの，最後までゴールを狙い続けた宮本の選手たちに拍手を送りたい。

〔女子準決勝〕

船橋市立 習志野台中学校 (船橋)	3 3	}	<table border="0" style="margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">0</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">3</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">0</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">0</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">6</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">9</td><td></td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">7</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">4</td><td></td></tr> </table>	1	0	-	1	3	1	0	-	1	0	6	-	1	9		7	-	1	4		5 6	昭和学院中学校 (市川・浦安)
1	0	-	1	3																					
1	0	-	1	0																					
6	-	1	9																						
7	-	1	4																						

【評】

関東大会出場をかけた準決勝。試合開始直後から互いに激しいディフェンスでスタートした。昭和⑦小松崎がドライブからファウルをもらい，フリースローで先制した。対する習志野台も速攻や④天野の力強いプレーで得点し，互角の展開で第1Qを終える。第2Qに入ると，習志野台が3Pで突き放すも，途中出場の昭和④大城が取り返し，一進一退の攻防が続く。前半は，昭和学院が3点リードで試合を折り返す。

第3Q，昭和学院がインサイドを中心に得点を重ね，開始3分で一気に12点差まで開き，習志野台はたまたまタイムアウト。リバウンド対策をとるも，昭和学院が中外バランス良く得点し，リードを広げる。習志野台はオールコートマンツーマンディフェンスを展開し，逆転を狙う。④天野，⑦深瀬を中心にオフェンスを組み立て，必死に食らいつくが，ファウルがかさみ，昭和学院が冷静にフリースローで得点を重ね，決勝へと駒を進めた。最後まで諦めずにプレーした習志野台にも拍手を送りたい。

〔女子決勝〕

翔凜中学校 (君津)	3 7	}	<table border="0" style="margin: 0 auto;"> <tr><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">2</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">6</td><td></td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">4</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">8</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">1</td><td style="padding: 0 5px;">3</td><td></td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">6</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">9</td><td></td><td></td></tr> </table>	1	2	-	6		1	1	-	1	4	8	-	1	3		6	-	9			4 2	昭和学院中学校 (市川・浦安)
1	2	-	6																						
1	1	-	1	4																					
8	-	1	3																						
6	-	9																							

【評】

新人・選手権の覇者，翔凜とリベンジを狙う昭和学院との対戦。開始からお互いに激しく守り合い，2分間得点が入らない状況から始まった。翔凜が⑫高木のレイアップで口火を切ると，対する昭和学院は④大城を中心にOFを組み立てていく。第2Qに入り翔凜の激しいDFからの速攻が続く，⑩川井田のポイントで徐々にリードを広げていく。昭和学院も⑥野本⑦小松崎のリバウンドで食らいつき，翔凜のファウルも重なって点差を徐々に縮め，前半を23-20の翔凜3点リードで折り返す。

第3Q，翔凜はエンドスローインから⑤菊地が冷静にゴール下を決め流れをつかもうとするが，逆に昭和学院④大城，⑥野本が果敢にドライブを決め，⑦小松崎の速攻が決まり，残り3分ずついに同点に追いつく。第4Qに入っても昭和学院の勢いは止まらず，⑦小松崎のドライブが決まり5点差となったところで翔凜タイムアウト。⑫高木のバックシュートで詰めるが，その後互いに激しいDFで一進一退の攻防を続け，そのまま試合終了。最後まで激しいDFに負けずに粘った昭和学院が，見事に雪辱を果たした。破れはしたものの，諦めずに戦った翔凜の健闘を称えとともに，両チームの関東大会での活躍を期待したい。

令和元年度第 73 回千葉県中学校総合体育大会

バスケットボールの部戦評【男子】

〔男子準決勝〕

八千代松陰中学校 (八千代)	8 1	$\left\{ \begin{array}{l} 23 - 16 \\ 17 - 12 \\ 21 - 18 \\ 20 - 17 \end{array} \right.$	6 3	船橋市立大穴中学校 (船橋)
-------------------	-----	---	-----	-------------------

【評】

秋からの三大会連続優勝を狙う八千代松陰は、⑥今野のパスから⑤羽賀のアウトサイドシュートや⑦坂本の1対1から得点を重ねる。対して大穴中は、④山口を中心として1対1を仕掛け、ドライブやアウトサイドシュートから得点を重ねる。また、⑤田中のミドルシュートも決まり、追いつがる。互いにインサイドやリバウンドに対して激しい攻防を繰り広げたが、徐々に八千代松陰がリードを広げ、12点差で前半を終えた。

第3Q、八千代松陰は⑦坂本のドライブやインサイドのオフェンスから得点を重ね、引き離しにかかる。大穴も果敢に1対1で攻めるも、八千代松陰の高さと固いディフェンスに阻まれ、徐々に点差が開いていく。第4Qに入り、大穴はオールコートで積極的にダブルチームを組み、ボールの奪取を狙う。④山口のドライブから粘り強く得点を重ねるも、八千代松陰が終始リバウンドを制してリードを広げ、試合終了。敗れたものの、最後まで脚を止めずに走り続けた大穴中の選手たちに拍手を送りたい。

〔男子準決勝〕

船橋市立前原中学校 (船橋)	5 9	$\left\{ \begin{array}{l} 21 - 23 \\ 5 - 10 \\ 20 - 20 \\ 13 - 16 \end{array} \right.$	6 9	市原市立辰巳台中学校 (市原)
-------------------	-----	--	-----	--------------------

【評】

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。前原は⑤橋本、⑧浅沼の3Pなどで得点を重ねる。一方の辰巳台は⑨長谷川、⑥永島のミドルシュートで対抗。両者厳しいDFで譲らない展開となるが、第2Q後半、辰巳台は⑥永島のポストプレー、⑨長谷川のタップシュートなどで立て続けに得点し、流れを引き寄せ始め、前原26-33辰巳台の7点差で前半を折り返す。

後半、辰巳台は速攻からの合わせで⑦関谷がゴール下でファウルを誘い、FTを決めるなど、徐々に点差を広げ始める。諦めない前原は⑧浅沼のアウトサイドシュートや⑥井上の3P、速攻などで食らいつく。第4Q序盤、勢いにのる前原は⑤橋本⑦石神のジャンプショットで立て続けに得点し、一時15点あった点差を2点差まで詰め寄る。しかしリードする辰巳台は慌てず、⑦関谷や⑫近藤のアウトサイドシュートで再び引き離す。残り1分を切ったところでDFのプレッシャーを更に強め、ボールを奪いそのままショットへ。59-69で辰巳台が接戦を制し、決勝進出と関東大会への出場権を獲得した。敗れはしたものの、最後まで諦めずに戦い抜いた前原中の健闘を称えたい。

〔男子決勝〕

八千代松陰中学校 (八千代)	7 4	$\left\{ \begin{array}{l} 20 - 17 \\ 19 - 4 \\ 18 - 12 \\ 17 - 10 \end{array} \right.$	4 3	市原市立辰巳台中学校 (市原)
-------------------	-----	--	-----	--------------------

【評】

互いにハーフコートマンツーマンでスタート。辰巳台は⑥永島のインサイドと⑤駒谷、⑧倉田のミドルシュートが決まり、得点を伸ばす。一方、八千代松陰は⑦坂本の1対1を中心に⑨片桐のショットもよく決まり得点を重ねていく。第2Q、八千代松陰が速攻や⑦坂本のスリーポイントで突き放しにかかる。一方の辰巳台は食らいつこうと果敢にミドルシュートを放つも、なかなか決まらずその差が開き始める。

後半、八千代松陰は速攻や1対1でさらに得点を重ね勢いに乗る。辰巳台は交代で入った⑩渡辺、⑬仲田が奮闘する。最終Q、八千代松陰は速攻や1対1の手を緩めず得点を重ねていく。辰巳台は必死に食らいつこうと、リバウンドやディフェンスで粘るも、その差が縮まらない。辰巳台は、交代で入る選手たちが懸命にボールを追い、食い下がるも、終始スピードと高さを生かしリズムを譲らなかつた八千代松陰がリードを守り試合終了。スピードと高さのある迫力のゲーム展開を見せた両チームに、会場から拍手が送られた。両チームの関東大会での活躍が楽しみである。